

みなみ 正弘通信

舞鶴市議会議員

Vol.1

ごあいさつ

2022年11月20日に行われました舞鶴市議会議員選挙におきまして初当選させていただきました南 正弘でございます。沢山のご支援を賜りましたことを心から感謝申し上げます。

市民の皆様からいただいた多くの期待に応えるために、市民に一番身近な存在として、しっかりと市民の皆様の声に耳を傾け、市民の皆様が安全・安心に暮らせるまちづくりに誠心誠意努めさせていただきます。

市議会議員となり約5か月となりますが、この間12月並びに3月に定例会がございました。3月の定例会では「小中一貫教育」につきまして、一般質問をさせていただきました。未来ある子どもたちの教育の問題につきましては、引き続き取り上げてまいりたいと考えております。また、常任委員会では”産業建設部会”に所属させていただいており、有害鳥獣である猿について、地域の方並びに市の担当者と一緒に対応を検討しております。そして、第7次舞鶴市総合計画後期実行計画に関する調査特別委員会では、第3部会に所属させていただき、”活力あるまちづくり+市政運営の基本姿勢”について検討させていただいております。すべては、市民の皆さんのために当事者意識をもって、各種施策に取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。



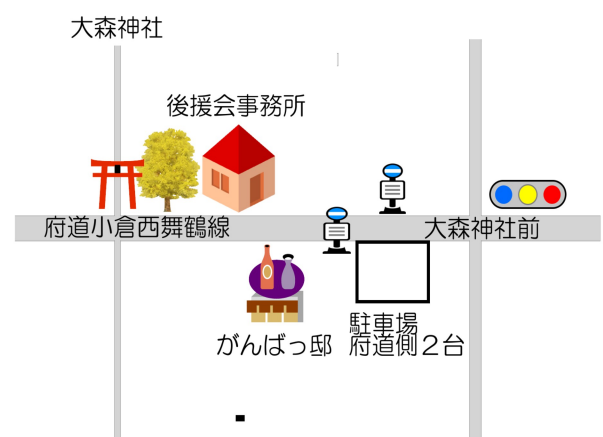
みなみ正弘後援会

〒625-0062 舞鶴市字森962番地

TEL(FAX)0773-65-2701

HP:<https://minami-maizuru.net/>

e-mail:info@minami-maizuru.net



3月定例会 一般質問

【舞鶴市の小中一貫教育について】

1. 舞鶴市の現状について

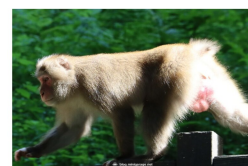
- (1) コロナ禍でのカリキュラムの進捗状況について
- (2) 中1ギャップに現状について
- (3) 授業における小中一貫教育の交流及び、教科担任制度の
当市の現状について

2. 9年間を見通した系統的・継続性のある指導について

- (1) 一貫性・継続性のある指導並びに系統的・継続的な標準カリ
キュラムの現状について
- (2) 小中一貫教育実践のPDCAサイクルの現状について
- (3) 舞鶴市の小中一貫教育」の今後の方向性について

【市からの答弁】

今後は、小中一貫教育で目指す教育目標「義務教育9年間で修了するにふさわしい学力の定着」、「豊かな人間性や社会性の育成」、「小中教職員の協働による9年間を見通した一貫性・継続性のある指導」、この3つの目標に向けてさらに取り組むとともに、「小中一貫教育」と「GIGAスクール構想」の推進により、舞鶴の子どもたちに令和の時代を生きていくにふさわしい力を付けていく。



地域の課題について



金屋では、有害鳥獣(猿)について何とかならないかとお相談を受けましたので、市役所の農林課と相談し、結果として檻による捕獲を進めることとなりました。現在、檻が空くのを待っております。

他地域でも、スクールゾーンであるにも関わらず信号機がないどころか、停止線、止まれの標識、グリーン帯の塗装がされていない等の問題があるが誰に言えばいいのか分からないとお相談を受けましたので、資料を作成し当該小学校校長に説明しました。校長先生から警察にあげていただくこととなりました。

その他にも、橋が古くなっている。街灯が暗い等のご意見をいただいております。それぞれのご意見、ご要望につきましては直ぐには対応出来ないこともございますが、継続して申し上げます。